

極東開発工業株式会社 証券コード：7226



第86期 期末決算のご報告

2020年4月1日～2021年3月31日

IR REPORT



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2020年4月1日から2021年3月31日までの当社第86期営業の概況についてご報告申し上げます。

2021年6月 取締役社長 布原達也

■ 2021年3月期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会経済が急速に停滞しました。緊急事態宣言解除時には経済活動再開の兆しも一時的に見られたものの、第二波、第三波と感染が再拡大し景気の減速が続き、個人消費及び企業の設備投資等は大幅に抑制されました。新型コロナウイルスは未だ収束の見通しは立たず、依然として予断を許さない厳しい状況が続いています。

このような状況下、当社グループでは、お客様、地域の皆様、従業員の安全を最優先としながら事業活動の継続に努めました。

同時に、中期経営計画(3カ年計画)2019-21 ～To the Growth Cycle～ (2019年4月1日～2022年3月31日)の2年目として、企業品質の向上と社会的価値の深化を図るべく、各施策の実行と業績の確保に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は前連結会計年度と比較して(以下、前期比)3,003百万円(2.5%)減少し117,170百万円となりました。営業利益は前期比586百万円(6.9%)増加し9,080百万円、経常利益は前期比577百万円(6.7%)増加し9,253百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比701百万円(11.5%)増加し6,774百万円となりました。

■ 今後の見通し

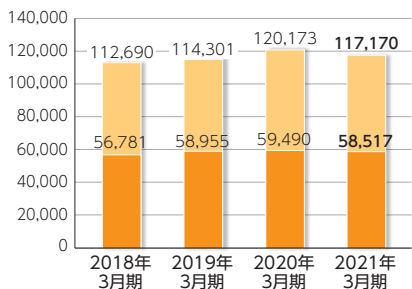
我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束までには時間を要し、厳しい環境が続くものと思われます。

当社グループは、最終年度となる中期経営計画（3カ年計画）の総纏めとして、経営目標を達成すべく生産性の向上と利益体質の強化、将来の収益源の創出及び、企業品質の向上と社会的価値の深化に引き続き努めてまいります。現下及び今後の動向を注視し、必要に応じて方針の修正等を検討・実施するなど、変化に柔軟な対応を行ってまいります。

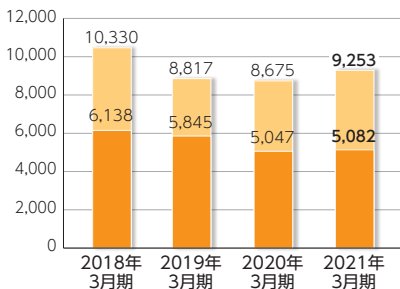
なお、2022年3月期の通期の連結業績は、売上高は115,000百万円、営業利益は8,200百万円を見込んでいます。また、経常利益は8,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は13,500百万円の見込みです。

■ 業績ハイライト

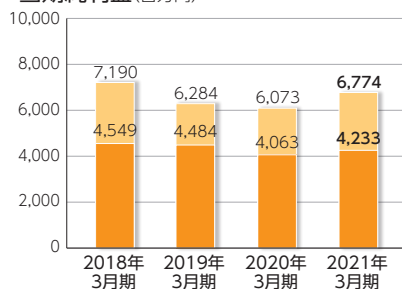
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)



画期的なプレス一体構造のテールゲートリフタに、新たな選択肢を追加！

垂直昇降式テールゲートリフタ「パワーゲート® V型プレスゲート」のサイズバリエーションを拡充

垂直昇降式テールゲートリフタ「パワーゲート V型プレスゲート」のサイズバリエーションを拡充し、2020年10月28日から発売しました。

「パワーゲート V型プレスゲート」は、垂直昇降式テールゲートリフタ「パワーゲート V600（最大許容リフト荷重600kg）/V800（同800kg）」のラインナップとして、プラットフォーム裏面を今までの溶接組立から画期的なプレス一体構造とした製品で、そのスタイリッシュな外観や高い防錆力が、ユーザー様よりご支持をいただいています。

今回、従来は1種類であったプラットフォームのサイズバリエーションを4種類に拡充し、取付可能な車種の拡大と、より幅広い作業ニーズにお応えしました。

また同時に開閉補助装置（トーションバー）を最適化し、より軽い操作力でのゲート開閉を可能としています。

特徴

1. プラットホームのサイズバリエーションを4種類に拡大
2. 開閉操作力の最適化で作業性を向上
3. スタイリッシュな外観と高い防錆力
4. 専用クッションゴムにより静かで優しい



パワーゲート V型プレスゲート(V600)
(プラットフォームサイズ: W1,570mm×H870mm)

最大積載量を大幅に向上！

10トン軽量ホイストリヤダンプトラックを改良、 耐摩耗鋼板仕様を追加し発売

10トン軽量ホイストリヤダンプトラックを改良し、標準仕様に加え、耐摩耗鋼板「HARDOX」を採用した耐摩耗鋼板仕様を新たに追加して、2020年12月18日から発売しました。

新機種は、ホイストメカとボデー主桁の改良により大幅な軽量化を図り、輸送効率を向上させました。

また、新たにラインナップされた耐摩耗鋼板仕様は、高い硬度と靱性を誇る「HARDOX」をボデーに使用することで一層の強度向上と軽量化の両立を図り最大積載量10,000kg以上を確保したほか、2018年2月に発売した4トン車および2019年5月に発売した7トン車と共通のデザインコンセプトを採用し、サイドパネルおよびテールゲートをスチフナ(補強柱)レスとすることで、すっきりとしたシンプルなデザインとしています。



新型10トン軽量ホイストリヤダンプトラック(耐摩耗鋼板仕様)
(オプション装着車)

「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に認定されました

当社は、経済産業省と日本健康会議(※)が健康経営の普及促進に向けて推進する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に認定されました。

当社グループでは今後も引き続き、豊かな社会づくりに向けたESG経営の観点から、従業員一人ひとりの心と体の健康づくりのために「働き方改革」や「健康経営」を積極的に推進し、組織の活性化を図ってまいります。

(※)日本健康会議:国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体。



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

IoTを利用した管理支援システム「K-DaSS[®]」に 「パワーゲート[®]」向けアプリ・Webサービスを新展開

特装車の稼働状況を記録・蓄積するIoT基板を利用した管理支援システム「K-DaSS」(※1)に、新たにテールゲートリフタ「パワーゲート(G型・CG型)」(※2)ユーザー様向けのアプリ・Webサービスを展開しました。

「K-DaSS」は当社独自のIoTシステムの総称であり、2019年2月にリリースしたサービスマン向けのアプリ「サービスツールシステム」、2020年7月にリリースしたごみ収集車ユーザー様向けの管理支援アプリ・Webサービスに加え、2021年3月には「パワーゲート」ユーザー様向けの同アプリ・Webサービスを新たにリリースしました。

本サービスは、ID登録により無料でのご利用が可能であり、ご登録された「パワーゲート」の保守情報、メンテナンス情報、入出力情報を確認することができます。

これらの情報をご活用いただくことで、ユーザー様におけるメンテナンスの合理化とトラブル発生時の対応を迅速化します。

(※1)K-DaSS：ケーダス(Kyokuto Data Sharing Service) (※2)G型：後部格納式・CG型：床下格納式



機動性と圧送能力を大幅に向上させ、多様な現場での作業に対応!

新型コンクリートポンプ車 「ピストンクリート® PY120B-26D」を発売

26m級のブームを搭載し、機動性と圧送能力を大幅に向上させたピストン式コンクリートポンプ車「ピストンクリート PY120B-26D」を開発し、2020年11月24日から発売しました。

新機種は、従来機種(※)に比べホイールベースを400mm短縮し5,000mmとしたシャシに、軽量化した26m級ブームと、最大出力が同比約35%アップし、実用域での圧送能力を大幅に向上させたポンプユニットを搭載する機動性に優れた大型ピストンクリートです。

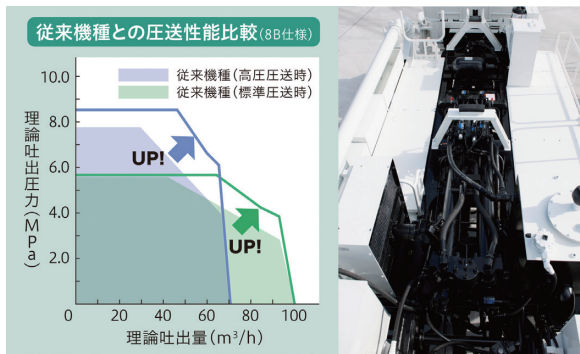
コンクリートポンプ車の国内トップメーカーである当社のノウハウを活かし、都市部をはじめとした多様な現場に対応することが可能な、オールマイティーな1台です。

(※)従来機種：ピストンクリートPY115A-26C



特徴

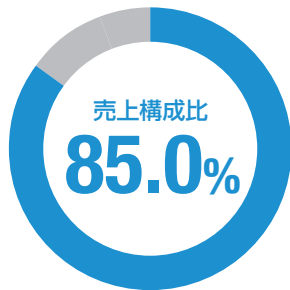
1. コンパクト設計による高い機動性
2. 軽量26m M型4段屈折ブームを採用
3. 実用域での圧送能力を大幅に向上させた高性能ポンプユニット



ピストンクリート PY120B-26D

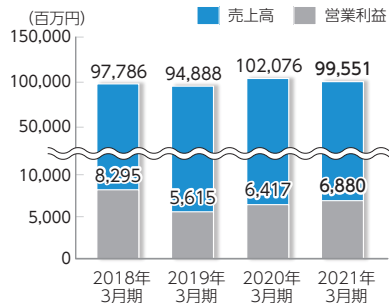
■ セグメント別概況

〔 特装車事業 〕



国内需要は、一部で新型コロナウイルスの影響による商談の遅延が見られたものの、全体としては堅調に推移しました。当社はITを活用したテレワークなどによる受注確保のほか、工場では感染対策を実施しながら生産活動を継続しました。

また、IoT基盤を利用した車両管理支援システム「K-DaSS[®]（ケーダス）」について、2020年7月にごみ収集車ユーザー様向け、2021年3月にテールゲートリフタ「パワーゲート[®]」ユーザー様向けのアプリをリリースし、



スーパー散水車



後部格納式テールゲートリフタ
「パワーゲートGⅡ 1000 / GⅢ 1000」

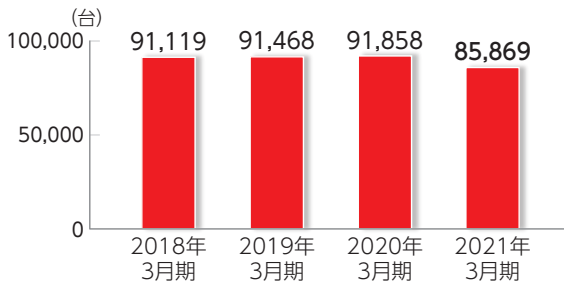
アフターサービスの強化を図ったほか、2020年8月にはごみ収集車向けのオプションとして画像認識AI搭載の安全支援システム「KIES（キース）」を、11月にはコンクリートポンプ車の量販機種である26m級の新型「ピストンクリート® PY120B-26D」を発売するなど、技術力を活かした新製品を積極的に投入しました。

海外は、インドのSATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED（以下、SATRAC社）を2020年9月9日付でグルー

プ化（完全子会社化）しました。SATRAC社のインドにおける優れた生産拠点と顧客を確保することにより事業基盤を強化し、今後同国における特装車事業を拡大・発展させていく方針です。

当セグメントの売上高は前期比2,525百万円（2.5%）減少し99,551百万円となりました。営業利益は前期比463百万円（7.2%）増加し6,880百万円となりました。

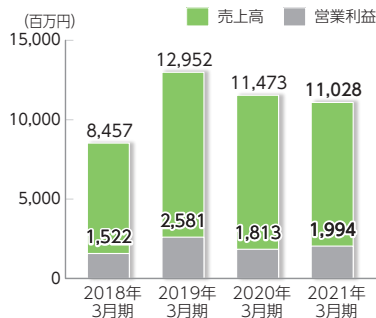
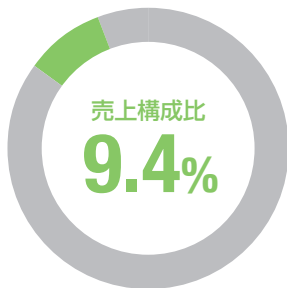
■ 国内普通トラック登録台数の推移



フラトトップ® Zero II

■ セグメント別概況

[環境事業]



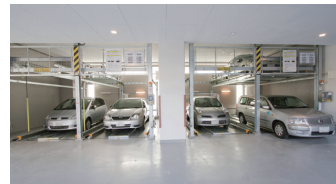
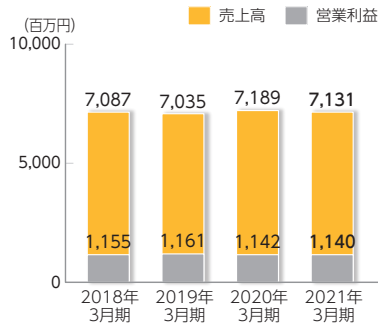
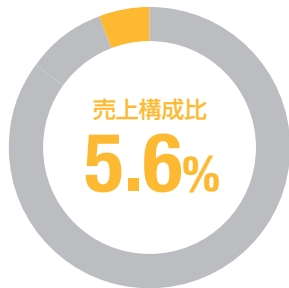
西天北サーマルリサイクルファクトリー

プラント建設では新規物件の受注活動を進めた結果、2020年5月に北海道札幌市様より駒岡清掃工場更新事業の建設工事及び運営事業を、6月に秋田県の鹿角広域行政組合様より不燃ごみリサイクルセンターの建設工事を、2021年2月に鹿児島県の南薩地区衛生管理組合様より（仮称）南薩地区新クリーンセンター施設整備及び運営事業をそれぞれ受注いたしました。

また受注済物件の建設工事と併せ、メンテナンス・運転受託等のストックビジネスにも注力しました。

当セグメントの売上高は前期比444百万円（3.9%）減少し11,028百万円となりました。営業利益は前期比181百万円（10.0%）増加し1,994百万円となりました。

[不動産賃貸等事業]



立体駐車装置
(レントウパズル® HS-22)



立体駐車装置
(地下パーク 3N)

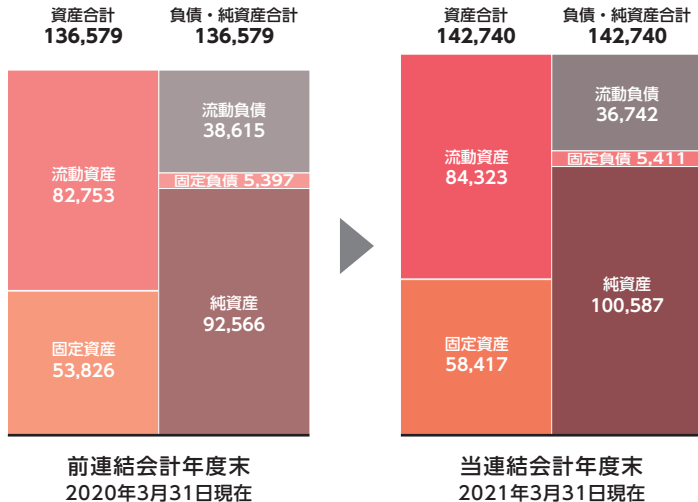
立体駐車装置は新規物件の受注活動と併せ、リニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスに注力しました。コインパーキングは新型コロナウイルスの影響により、各事業地において稼働率が低下する状況が続きましたが、トータルコストの

削減を行い利益の確保に努めました。

当セグメントの売上高は前期比57百万円(0.8%)減少し7,131百万円となりました。営業利益は前期比2百万円(0.2%)減少し1,140百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

連結貸借対照表の概要 (百万円)



..... ポイント解説

当連結会計年度末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は6,161百万円 (4.5%) 増加して142,740百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金の増加等により1,570百万円 (1.9%) 増加して84,323百万円となりました。

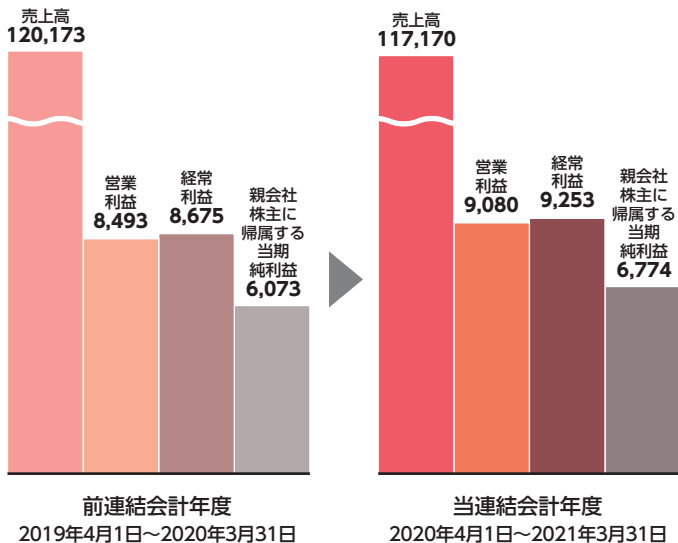
固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により4,591百万円 (8.5%) 増加して58,417百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は電子記録債務の減少や短期借入金の返済等により1,873百万円 (4.9%) 減少して36,742百万円、固定負債は繰延税金負債の増加等により14百万円 (0.3%) 増加して5,411百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したこと等により、8,020百万円 (8.7%) 増加して100,587百万円となりました。

なお、当連結会計年度末現在の自己資本比率は70.3% (前連結会計年度末67.5%) となりました。

連結損益計算書の概要 (百万円)



..... ポイント解説

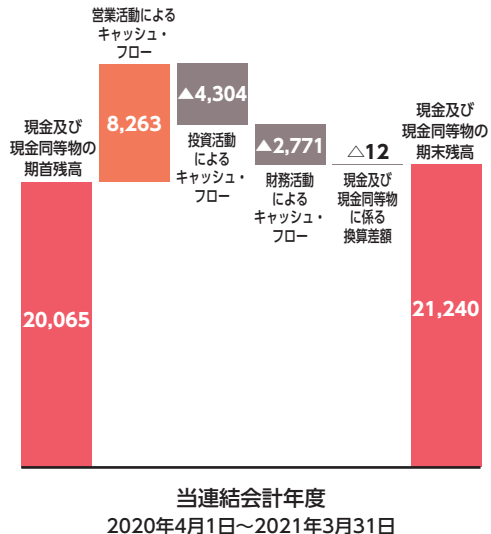
中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の2年目として、企業品質の向上と社会的価値の深化を図るべく、各施策の実行と業績の確保に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は前連結会計年度と比較して（以下、前期比）3,003百万円（2.5%）減少し117,170百万円となりました。営業利益は前期比586百万円（6.9%）増加し9,080百万円、経常利益は前期比577百万円（6.7%）増加し9,253百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比701百万円（11.5%）増加し6,774百万円となりました。

.....

■ 連結財務データ (日本基準)

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



..... ポイント解説

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1,174百万円（5.9%）増加して、21,240百万円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金収支は、8,263百万円（前年同期比+2,464百万円）となりました。これは税金等調整前当期純利益の計上等によるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金収支は、△4,304百万円（前年同期比△1,557百万円）となりました。これは固定資産の取得等によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金収支は、△2,771百万円（前年同期比△487百万円）となりました。これは配当金の支払及び長期借入金の返済等によるものです。

利益還元について

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

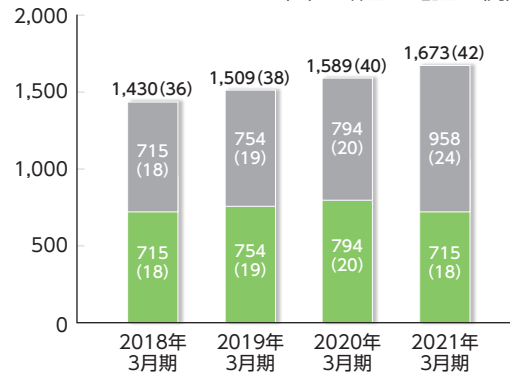
配当について

2021年3月期の期末配当金につきましては、業績が好調に推移したことから、前期末配当金より1株あたり4円増配の24円とさせていただきます。

これにより、中間配当金を含めました年間配当金は、1株当たり前期比2円増配の42円となります。

配当総額の推移

■ 中間配当総額 ■ 期末配当総額 (百万円)
※ () は1株当たり配当金(円)



■ 企業データ

〔 会社概要 〕 (2021年3月31日現在)

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結3,050名 単独1,089名

〔 役 員 〕 (2021年6月25日現在)

代 表 取 締 役 会 長	高 橋 和 也
代表取締役社長 社長執行役員	布 原 達 也
取 締 役 常 務 執 行 役 員	則 光 健 男
取 締 役 常 務 執 行 役 員	原 田 一 彦
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加 藤 定 宣
取 締 役 執 行 役 員	堀 本 昇
社 外 取 締 役	堀 木 戸 洋 二
社 外 取 締 役	道 上 明

常 勤 監 査 役	杉 本 治 己
監 査 役	越 智 聡 一 郎
社 外 監 査 役	乗 鞍 良 彦
社 外 監 査 役	藤 原 邦 晃
常 務 執 行 役 員	中 島 光 彦
常 務 執 行 役 員	木 津 輝 幸
執 行 役 員	櫻 井 井 晃
執 行 役 員	細 澤 幸 広
執 行 役 員	高 濱 晋 一
執 行 役 員	吉 田 豊
執 行 役 員	牛 尾 昌 史
執 行 役 員	千 々 岩 伸 佐 久
執 行 役 員	野 村 達 也
執 行 役 員	岩 田 圭 介

■ 株式データ (2021年3月31日現在)

[株式の状況]

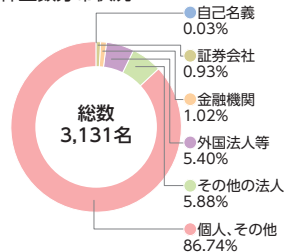
発行可能株式総数 170,950,672株
 発行済株式総数 42,737,668株
 株主数 3,131名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,779	6.96
株式会社三井住友銀行	1,600	4.01
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.75
極東開発共栄会	1,354	3.39
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,319	3.30
INTERTRUST TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	1,095	2.74
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.54
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	825	2.07
宮原 幾男	814	2.04
極東開発従業員持株会	791	1.98

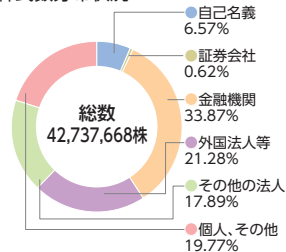
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(2,807千株)を控除して計算しております。

[株式分布状況]

株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:soumu@kyokuto.com

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

